



表紙 裸押合祭
(大和町公民館)

特集 少年教育 地域子ども会の現状と課題

- 視 点 身近な素材を活かそう
- ひろ ば 一人はみんなのため、みんなは一人のため
- 実践記録 21世紀にアタックする
- サークル交流 長岡メリーランド(長岡市)
- 小出彩月会(小出町)
- 素顔拝見 鈴木一良様(村上市中央公民館)
- 羽下由紀様(横越町中央公民館)

第49回新潟県公民館大会

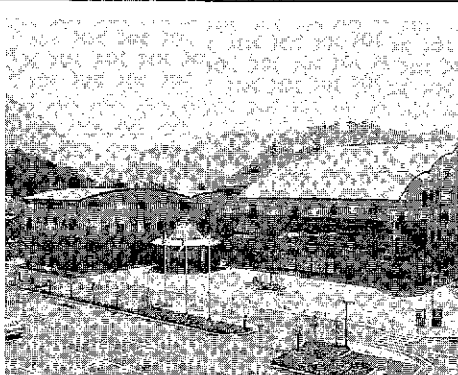
◆平成10年7月16日(木)

西頸・青海町総合文化会館

『きらら青海』で開催予定

◇平成10年度第49回新潟県公民館大会は、上越地区、西頸城郡青海町・上越公民館連絡協議会主管の下、青海町で開催される予定であるが、その準備状況が着々固まりつつあるので、その概要をお知らせしたい。

☆大会主題は、『現代社会における公民館活動の在り方を考える』とし、副題には「住民参加の地域活動を支える公民館活動を求めて」とした。



「きらら青海」全景

☆大会趣旨には、「私たちを取り巻く地域社会は今、情報化、国際化、少子・高齢化社会への対応、環境問題、文化の振興、さらに地方分権という新たな行政課題を抱えながら、一方ではコミュニティの希薄化に対する危機感が高まっている。現代のような豊かな社会における地域の活性化を図るには、住民の一人ひとりが地域社会の問題を自分のものとして受け止め、住民自らが主体的に行動していかねばその糸口は見つからない。こうした課題を解決するためには、生涯学習の推進と、この役割を中心として担う公民館の使命が極めて重要である。本大会においては、このような現代社会における公民館の在り方を追求する。」と設定した。

○記念講演
演題は「未定」(自然生態に関すること等含めて)
講師 日本哺乳類学会会員 野紫木 洋様

◇なお開催要項は、上公連理事会、県公連理事會評議員を経て正式案内される予定。

☆主な内容等

○実践発表
「地域づくりと公民館」
上越市、糸魚川市、大潟町

第39回関東甲信越公民館研究大会 開催要項第1次案のお知らせ

◇テーマ

「今こそ見つめよう、公民館の役割と可能性」
～生涯学習社会の実現をめざして～

1 趣旨
21世紀を目前にひかえ、情報化、国際化、高齢化、少子化など、私たちを取り巻く社会環境は日まぐるしく変化しています。生涯学習社会と言われる今日、公民館は地域住民の生涯学習の機会を保障する中心的な施設として各方面から多大の期待が寄せられています。各公民館においては、家庭、学校、地域社会と連携を図る中で、多様化、高度化する地域住民の学習ニーズに対応し、日々活動を続けているところでありますが、公民館活動にかかわる我々は、公民館活動の過去、現在を的確に認識することを通して、これからの公民館の在り方を確立していくべきであります。

これらのことを踏まえて、上記テーマ「今こそ見つめよう、公民館の役割と可能性」を設定し公民館並びに社会教育関係者の参加を得て、討論を深める研究大会とします。

- 2 主催 関東甲信越静公民館連絡協議会
山梨県公民館連絡協議会
社団法人 全国公民館連合会
山梨県教育委員会
河口湖町教育委員会
- 3 主管 第39回関東甲信越静公民館研究大会実行委員会
- 4 期日 平成10年8月27日(木)～28日(金)
- 5 会場 主会場 河口湖町民体育館
- 6 参加者 公民館職員、公民館運営審議会委員、教育委員、社会教育委員、教育委員会事務局職員、社会教育関係施設職員、社会教育関係団体関係者、その他参加希望者

7 日程

第1日目 8月27日 (木)	11:00 開会式 記念講演	12:30 昼食 分科会開始	13:30 閉会式 及び表彰授賞式	14:15 分科会閉会	17:00 分科会終了
第2日目 8月28日 (金)	9:30 分科会閉会	記念講演	11:00 表彰授賞式	11:30 解散	

①②③TV「小さな旅」放映
『らくがき』がつづる雪の山里
十日町市吉田地区公民館真田分館生活文集

35年もの間、豪雪の中で書き綴られた生活文集「らくがき」が1月17日(土)PM6:10:30、NHKTVで放映された。

中心メンバーは、吉田地区公民館真田分館の婦人学級で活躍した方々で、夫・息子たちが出稼ぎで家を離れる冬期、雪掘りの苦勞、出稼ぎに出た男衆への思い、子育ての喜び、春を待ちわびる心を文に綴り、出稼ぎ先に送ったものである。

三年間この地に赴任し、この文集づくりに関わった者の一人として、実に印象深く、感動的に視聴することができた。



日本教育政策提言機構「夢塾」

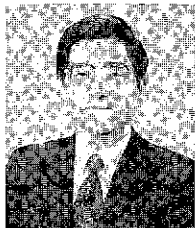
平. 10. 1. 25(日)

長岡市四郎丸公民館で開催さる!!

●主テーマ『教育改革の実像を問う』 —知育偏重は是正されるか、 心の教育はどうなるか—

◇長岡会場日程

- 10:00 長岡会場・開会 2F〈会議室・図書室〉 全体会議
(1)開会の挨拶 四郎丸公民館長 田村 昭
(2)歓迎のことば 長岡市教育長 大西 厚生 様
(3)ゲスト討論者紹介・「夢塾」全国キャラバン
主旨説明 主宰 古市 憲一
- 10:20 「▼小講演—I」
ゲスト討論者 文部省生涯学習局課長 寺脇 研 氏
10:50 寺 脇 研 氏との質疑応答
- 11:10 「▼小講演-II」
ゲスト討論者 元文部省初中局審議官 奥田 貞丈 氏
11:40 奥 田 貞 丈氏との質疑応答
- 13:00 ▼第1分科会「知育偏重は是正され得るか」
1F〈和室3・研修室〉
寺 脇 研 氏を囲んでの討論
- 15:00 ▼第2分科会「心の教育はどうなるのか」
2F〈児童図書室・集会所〉
奥 田 貞 丈氏を囲んでの討論
- 15:20 ▼全体協議会(各分科会での課題に対する意見交換)
- 16:40 ▼討論のまとめ
- 16:50 ゲスト討論者へのお礼 主宰 古市 憲一
長岡会場・閉会の挨拶 館長 田村 昭



区の鎮守社・来伝天神の合格祈願祭がある。山間の同区の役員から同区の活性化策を託された私は照準を来伝

視 点

私は、趣味で栃尾の村おこしをして、その成功例に上米伝(かみらいでん)

身近な素材を活かそう

深 滝 純 一

に始めた来伝天神の合格祈願祭で配布する。受験生は絶対合格の意志を込めて、石に「GO・5・5・GO」などを書き続ける。そして、めでたく合格した者

でめでたい天神様として必ず栃尾の観光名所になるはずだ。企画は的中し、ご書く石と来伝天神はNHKの全国放送「おはよう日本」などのテレ

天神に当て、まず同神社を有名にするために知恵を絞って、合格をもじった「ごを書く石」を考案した。ごを書く石は、神職が払い清めた石を新たに

は、その石を来伝天神に奉納する。来伝天神では、それらの石を集めて神社の境内に天神様の石像を造る。石像は、各地の合格者が係わってできたユニーク

ピヤ新聞、ラジオ等で大々的に報道され、それまで村の古老しか参拝しなかった来伝天神への参拝者が激増、県内はもとより県外からも参拝者が来るようになった。

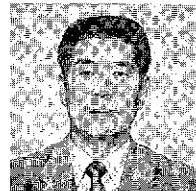
昨年末の合格祈願祭では境内に人が溢れ、急遽、修祓式を追加したほどである。

このように、身近に眠る素材を一工夫して地域のために活かすという視点を決して忘れてはならない。(栃尾市公民館・事業係長)



一人はみんなのため、みんなは一人のため

相川町公運審委員 岩崎 政 敏



「一人はみんなのため、みんなは一人のため、一人のため、私がこの言葉を耳にしたのは、中国映画をテレビで見ていたときです。

と言った場面が日に浮かぶ。公民館活動においても言える言葉だと思えます。私達の分館では、各年代層の共助協調を、正三角形活動と称して活動している。

今日のように高度成長、高度情報化された我が国では、自分の回りや足元を見ることがわすれていないだろうか? ましてや、人のためにと言うこと、……そんなことは自分がやらなくても、やれる人がやればよい。

この三年代層を、正三角形に置き換えて活用している。たとえば、青年層が頂点となつて活動するときには、中年層の行動と責任、老年層の知識と経験が青年層の活動を支えるのである。また、その活動共助協調のまとめ役が、各団体から選ばれた十二名の分館スタッフ達である。

私が昭和五十八年に分館長を引き受けてはや十五年、無論私一人で今日まで来れたわけではない。家族全員の大きな協力があったからです。家族への感謝、人から受けた喜びを感じたとき「一人はみんなのため、みんなは一人のため」

(相川町公運審委員・二見分館長)

◇執筆者紹介

反町幸男様は、新潟市教育委員会で青少年教育を、国立赤城青年の家専門職員、新潟県少年自然の家指導課長、教育庁下越教育事務所で青少年教育を、教育庁社会教育課で家庭教育を、総理府の青年の船の教官等、十六年間の社会教育行政の中で、特に青少年教育に経験と実績を重ねられました。

新潟市内の校長退職後は、新潟市大畑少年センター所長、また、市子ども会連絡協議会長として地域の子ども会活動等青少年教育を推進している立場から執筆をしていただきました。



『現状と課題』
反町幸男

一 はじめに

子ども会活動は、地域の中で遊びや自然体験、スポーツや文化活動を通して異年齢 集団の仲間づくりを進めるものであり、その中から協力が、がまん、他を思いやる心、社会性や創造性を高め、さらに自ら活動する力を培う場であります。

新潟市の現状と課題、及び自分たちの手で活動をはじめた子ども会を紹介します。

二 市子連の現状と課題

新潟市子ども会連絡協議会は(以下市子連という)平成八年に創立二十周年を迎えました。創立当時は、二八団体、一、五八〇人の会員でスタートをし、現在は三二四団体、一四、七〇八人で活動をしています。

・市子連への加入促進

市内には一、〇八五の自治会があり、それと同数くらいの子ども会が存在すると思われるが、市子連への加入は二八%に過ぎない現状であります。市子連に加入していきたくともそれぞれの子ども会が立派な活動を展開しているかと思えます。

しかし、子ども会活動をより充実した活動にするために、情報交換や研修会等にかかわること、より幅の広い指導や支援

資料1

平成8年度県子連加入者数(三市は内数)

地区(市)	小学生	中・高校生	大人	合計	子ども数
上越(16市町村)	11,723	3,347	6,515	21,586	448
中越(17市町村)	27,354	3,110	18,060	48,524	972
下越(17市町村)	22,408	2,256	7,918	32,582	703
佐渡(7市町村)	3,187	799	1,027	5,013	194
合計(57市町村)	64,672	9,512	33,523	107,707	2,317
上越市	7,146	2,094	2,601	11,841	228
長岡市	12,317	883	8,033	21,233	436
新潟市	11,027	725	3,232	14,984	313

が可能になると思われるので加入の促進に努めていきます。

・ジュニアリーダーの養成

市内の中・高年生の七二五人が市子連に加入しているが、地域子ども会活動への参加は皆無に等しい状況である。部活動、塾、受験と多忙の中で仕方ない現状かもしれないが、上越地区や長岡市ではジュニアリーダーが多教育育っていることは、魅力のある子ども会活動が展開されているからと思えます。

当市では四・五年生を対象に、子ども会活動の展開や、すぐ役に立つレクリエーション等に、将来のリーダー養成のため研修会を実施しています。

今日はとても楽しかった。友達もたくさんできたしおも

しろいゲームもしました。来年度の計画も話し合いながら作りました。
四月から六年生なのでがんばりたいと思います。
五年 樋浦 亜希子

・単位子ども会活動の充実

各公民館の子ども会情報交換会で、育成者の在り方、活動の進め方、市子連事業の紹介も兼ねて研修会を実施して、地域子ども会活動がより充実するように努めています。

子ども会交歓大会は、単位子ども会の活動の充実とリーダー養成を目指して、国立妙高・新潟県少年自然の家を会場として行い、話し合い、星座観察、創作活動、料理コンクール等を実施しています。

育成者指導者を発掘して子ども会のためにどのように活動してもらおうか等、課題を多くかかえているが、身近にできることから推進していきます。

三 下越地区子ども会活動

子ども会育成者研究大会は、毎年市町村巡回で実施している。今年度は五泉市で、地域における子ども会活動「今どうしている・これからどうする」の主題のもとに、子ども会活動での生活体験と安全教育、子ども会と家庭・学校・PTA

との連携は、という二つのテーマで協議をしました。
子ども会交歓大会は新潟市大畑少年センターで、子ども一〇人、育成者等三五人が参加して、活発な活動が展開され友好を深めることができました。

友達いっばいつくろぞ。

楽しい日になるように参加しました。本町市場の夕食の副食の買物、忍者大会の小道具づくりと班で協力してできてとてもよかったです。夜の話し合いが最高でした。
五年 高橋 実季

四 子ども会の紹介

子ども達の手による子ども会を目指して活動しているところを紹介します。



忍者大会の小道具づくり

特集 少年教育

『地域子ども会』

新潟市子ども会連絡協議会長

新潟自治会に世帯数七六〇、人口二、六〇〇人、子ども一三八人。子どもの数が多いから五班に分けて、班活動と全体活動の二本立てで年間計画をたてている。

夏休みの活動は、子ども達の話し合いによって次のように実施しています。

・夏休みラジオ体操
 六年生が中心となり、ラジオの持ち運び等各班持ち回りでやっている。参加賞は一人一五〇円の予算で購入している。学用品、菓子類、飲み物等であるが、大人が買い与えたものでなく、自分たちで買うというところ



市子連交歓大会 (自然の家)

ろに意義があると思います。

・各班の自主活動
 「みんなで輪を広げよう」の行事名で、「スイカ割り・花火・遊び」等を計画して、一人四〇〇円の予算を使って各班とも楽しい行事を展開しています。

ドッチボールは、みんながボールにさわられてよかった。小さな子にはボールを弱くなげてあげた。花火もあげた。花火に近づいた人を注意しました。

六年生が中心に準備したのでよかった。こんどはもうすこし工夫してやりたい。予算九、四五〇円、参加者、幼児四人、大人五人、子ども二十人
 五班 班長
 司会進行は子ども達で

平成九年新しい町内「夏まつり」が始まった。子ども会でも各班ごとに「まとあて、さいころわなげ、昔のおもちやで遊ぶ」等の遊びの広場を設営しました。町内の中学生に呼びかけたところ、五人がボランティアとして参加して活動をしました。

三角叉を見て簡単そうだったけど、実際に木を同じ長さで切っていくと、簡単という気持ちどこかへ行ってしまいました。

でき上がって遊んだ時に「竹馬」そっくりだなあーと

三月の「新年を迎え、六年生を送る会」では、歓迎・送ることば及び司会進行は全て五年生が担当している。町内からは記念品の贈呈があり、六年生はさらに、創作活動「こけしのペン立て」を作りました。アトラクションとして榎本先生のオカリナの演奏がありました。

どらえもんやドレミのうたなど、知っているきよくがたくさんありました。

おもいでのアルバムはそつえんしきでもうたつたので、たのしくうたうことができたのしかったです。

年長組 ひぐちあやこ

五 町内行事の中へ

資料2

子ども会年間行事計画

①	2/9(日)	リーダー研修会
②	3/23(日)	新1年生お楽しみ会 6年生を送る会
③	4/27(日)	ネイチャーゲーム①
④	5/10(土)	ママの顔のクッキー
⑤	5/24(土)~25(日)	宿泊行事(小3年以上)
⑥	6/14(土)	大学生と一緒に①
⑦	7/25(金)~8/9(土)	ラジオ体操
⑧	8月中	各班子ども会行事
⑨	8/23(土)	夏まつり
⑩	10/5(日)	ネイチャーゲーム②
⑪	10/19(日)	和紙の人形づくり
⑫	11/8(土)	大学生と一緒に②
⑬	12/14(日)	子ども冬まつり

思いました。楽しかった。

六年 松山裕一

町内の文化祭が毎年開催されている。今年度は年間計画に位置づけて「親子でつくる和紙人形」を展示したところ大変好評であった。来年度もより充実したものを展示できるように努めていきたいとのこと。

子ども会活動を地域の皆さんに理解と協力を得るために、年二・三回「こどもかいだより」を発行して地域の全家庭へ回覧しています。

六 おわりに

子ども達の健やかな成長をという願いは、あらゆる時代を越えて地域のいかに問わず変わることのない要請であり、子どもをもつ親の切なる願いでもあります。

今こそ学校・家庭・地域が一



昔のおもちやで遊ぶ

体となって子ども達を育てていく時であると思いますので、力を合わせて子ども会活動を推進していくように努めていきます。

実践記録 シリズ(21)

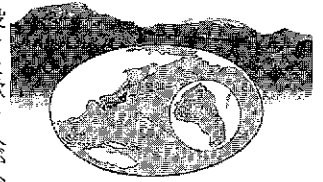
21世紀にアタックする

糸魚川市根知むらおこしふるさと協会 糸魚川市根知公民館

塩の道俳句会より
・毘沙門天 今日も見守る
雪の村(千里)
・降る雪の 重みをのせて
歩荷の背(珠樹)

根知地区 コミュニティ計画

第一歩
世界一の夢を追いかけて!



根知むらおこしふるさと協会

☆はじめに

今回は、平成8年度あしたの新潟県を創る運動協会の「ふるさとづくり賞」を受賞した糸魚川市根知地区の活動を、恵贈資料10周年記念誌「興」の中から抜粋して紹介してみたい。

☆自由にむらおこし……そのいち……

「根知が好きだから」

根知地区の過疎化がどんどん進む中で「大人たちは、根知が寂れていくことを嘆きながら暮らしていた、という印象を子どもたちに与えたくない、何かしっていたな、という印象をもって

もらえる姿でいたい。」と。

そして考えた末

・根知は、子どもを育てるにはとても良い所だ、

・根知は、人が暮らすにはとても良い所だ、

・根知はいい所だと言いつつ、力を合せて前向きに暮らしている姿を子どもたちに見てもらいたい、

・人の暮らしには、自然の恵と家族のぬくもりが原点だ、

・根知に多くの人に訪れてもらいたい、穏やかな自然の良さを知ってもらいたい、

と、ご自分の気持ちを整理され仕事上の絵本を活用して「絵本の原画展」をアピールされ、六回の実績をもつ小さな里の絵本原画展実行委員会の上野通子様。

10周年記念誌

「村おこしに思う」
友人の誘いで、上早川土塩に開設されたホコ自習館を訪れ

た時の印象記。

古い家を改築し、自習部屋、子どもらに童話を読んでやる小部屋、会津八一先生の展示室、小さな図書室等、地区の子どもたちに開放し、文化・情報を発信される館長の勝山先生のお人柄、お話から、人は物を作り働いてお金を求めることも生きていく上でとても大切な喜びの一つであるが、時には心身共に休めて、物を見たり聞いたり、人生経験豊かな人とじっくり話し合うことも、生きる知恵を養うための大事な作業ではないだろうか」と思い、そして、これらのことは自分だけのものではなく、良いことは人に広め、共に楽しめ、生活に生かす、共に生きる、これが村おこしの真髄ではないか、と究極的に考えられた船木淑子様。

☆じゆうに村おこし……パー
トツウ……

「石場から」

信男様。

近年、段々と歌う人が少なくなり息切れ状態となった石場かちを、何とか後世に伝承しなければと取組み始め、あの人この人から聞きまじめとした「根知の石場から」の歌詞。昔は、家屋等の築造の度毎、地盤固め打ちに能率を上げるため、調子合せ、掛け声をかけながらの地唄祝唄等の再生、再現を図られた猪又

敬和会の加藤重信様。

☆じゆうにむらおこし……
その3……

「唯一の塩の道と資料館」

塩は糸魚川から松本まで送ったのでありますが、その間糸魚川から大綱までが塩の道といわれております。この間は、大きな峠で冬は雪が深く、夏は道も狭く険しく、人の背でなければ運ぶことができなかったのです。その塩を背負って運んだのがポッカであります。

私たちは、この塩の道も永久に残し、大切に管理し、また資料館に陳列してある物は、この土地にふさわしく使い易く考え出した手造りの物ばかりですので、大切に保存し、永く伝えて行きたいものだ、と述べられる

《根知むらおこしふるさと協会できごと》

年	月日	根知むらおこしふるさと協会できごと
平成6	10. 13	地域作り東日本交流会議、於ホテル糸魚川、8名
平成7	6. 15	第8回定期総会
	7. 22	小谷村災害見舞
	8. 6	第1回むらおこしそば自給自足シリーズ、会員20名 有機農法焼き畑種子蒔き
	9. 17	そば自給自足会員、そばの花見会於別所、20名
平成8	11. 12	そば自給自足会員、石ウスで粉ひきそば打ち試食会20名
	5. 4	別所手打ちそばの実演と販売。於基幹センター
	7. 8	第9回定期総会。会長に横沢欽三就任
平成9	11. 23	第10回ふるさとづくり運動大会(於、栃尾市文化会館)の席上で、「ふるさとづくり賞」集団の部で、全国表彰・県表彰ダブル受賞の榮譽に輝く
	1. 27	むらおこし10周年記念事業、実行委員会設置
	7. 7. 27	根知シンボル塔建設(R148)根知案内看板建設(公民館前)第10回定期総会10周年記念式典(公民館)



10周年記念誌

根知むらおこしふるさと協会

サークル交流

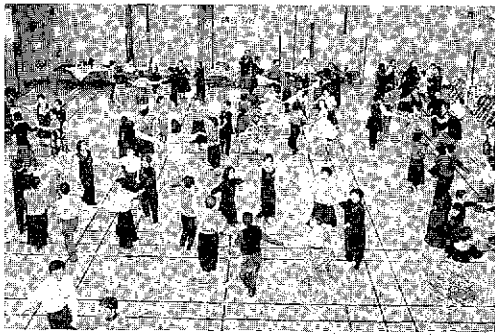
笑顔満開！ 和気あいあい！

長岡メリーランド

この会は、誕生して5年目のラウンドダンスのサークルです。

ラウンドダンスはアメリカ生れのダンスで、フォークダンスのように円(ラウンド)になってダンサーが同じ方向、同じフイガーで踊るダンスです。

ソシアルダンスの優雅さがあり、フォークダンスの楽しさがあります。ポピュラーな曲、なつかしいクラシックの曲にダンスが振り付けられています。



まちがえてもうまく踊れても笑顔満開！

「こんげにおもしろいダンスもうちつとわあけい(若い)時に始めてれば良かったてー」と和気あいあい！

会員数は80名余、中心は40、50代の女性、一年ごとに背筋も

のび、服装も若やいでいます。例会は週一回、午前(初、中級)夜(初、中級)と4クラスあり昨年柏崎にも誕生しました。ラウンドダンスを生涯スポーツとして楽しみながら、まあるい人間になりたいと思っています。

(長岡市中央公民館)

金子 美津子 記

私達のサークル活動

小出彩月会

近頃は特に高齢化問題が際立って来て、これからの余生を自分なりに楽しく過してゆくには先ず趣味が一番と思ひ、水墨画に挑戦することにした。幸い友人も一緒に希望し、サークルに入る同好者は二十数名で船もパラエティーです。月二回の教室で年に四、五回の写生会、スケッチ旅行を行い、出品も新潟、東京と年数回行われる。たかが



趣味と思つて通つて来ているが、矢張り競争意識も出て来て、時にはかなりのストレスも覚えるが、これも老化防止と自分に言いかせて、色紙から十号二十号と欲も出て来ます。そして同好者同士で批評し合い乍ら楽しんでいきます。そして何よりも嬉しいことは、良く描けたと思う時に知人等にかけて部屋に飾ってもらえることです。また、この会を通じて新年会、忘年会スケッチを兼ねた一泊旅行も、遠く九州から関東、青森の方々と交流が出来ることは本当にすばらしいことです。健康に気をつけて五体満足のうちにもっともつと頑張り、楽しい輪を広げて行きたいと願っています。

(小出彩月会 渡辺良雄 記)

村上市中央公民館

主査 鈴木一良 様

畑違いの市長部局から中央公民館に配属されて、はや2年、なれない仕事の中で乳幼児から高齢者まで笑顔振りまきながら一生懸命頑張り、今や公民館事業には欠かせない存在になった鈴木君である。

特に国際交流事業においては日本語はもとより、中国語、韓国語、ポルトガル語、英語といろいろな言葉が飛び交う



素顔拝見

国語、ポルトガル語、英語といろいろな言葉が飛び交う

中で東奔西走してコミュニケーションを図るその姿は、感心するばかりである。
一昨年結婚した奥様との間に年末には祐季ちゃんという一粒種にも恵まれ、日尻が下がりっぱなしで、また、得意中の得意のスキーにも時間を工面して頑張っている。公私とも順調で超多忙なこの頃である。
できたら社会教育主事の資格を取り、祐季ちゃんの成長とともに末長く公民館活動に付き合っていたきたいものである。
(村上市教委社会教育課 本間 正志 記)

横越町中央公民館

書記 羽下由紀 様

公民館勤務四年目を迎え、ますます仕事に愛着が出てきました。特技のパソコンやワープロ操作技術は一級品。その能力を生かして公民館図書室の管理、運営をコンピューター処理に変えるなど、積極的に公民館事務のOA化に取り組んでいます。

中央公民館では、図書室の運営だけでなく、婦人大学、フラー・アレンジメント教室、お菓子作り講座、お茶講座等から子育てセミナー、子どもパソコン教室など公民館講座の半分以



上を一手に引き受けてがんばっています。受講者からは公民館一の人気者で、全幅の信頼もたれています。趣味のスポーツは中学時代からの卓球が中心ですが、今は読書や映画、音楽鑑賞など文化面中心。興に乗れば東京にまで出かける積極派です。ただいま「花婿さん」募集中、キムタクのような方おられませんか。
(横越町中央公民館長 川島 泰郎 記)

惠贈資料紹介

「碑文」第六号

十日町市吉田地区公民館

「聖山大学」平成八年度

聖籠町教育委員会



今回は高齢者学級・大学関係の資料を紹介させていただきます。

「碑文」第6号は、サブタイトルに「明治・大正・昭和・平成の四代にわたる、厳しい幾星霜に生きた人達の証言」とし、

四世代社会の激動を見つめ、体験してきたことを綴って、後世、

惠贈資料紹介

「一九九七「きずな」

新潟県高齢者大学修了記念文集

(財)新潟県長寿社会振興財団

新潟県高齢者大学修了記念文集「きずな」が送付されて参りました。

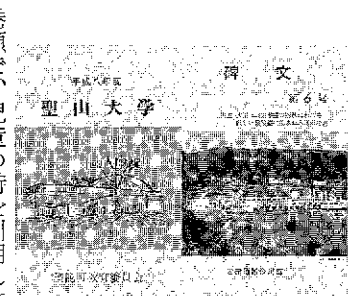
文集の内容は、学長平山敏雄様の巻頭言に始まり☆記念写真☆基礎学習課程・新潟会場Aクラス、同Bクラス、長岡会場、上越会場そして☆あとがきから構成されております。今年度基礎学習課程一七三名

身近に居るわが子・孫に語り伝えようとしている姿勢がうかがわれます。ある人は戦争体験を、

またある人は開拓・開田の思い出を、それぞれの立場で、血と汗のにじむ文体で書き綴っておられます。「聖山大学」は、平成八年度第24期生の修了記念文集です。

の修了生を対象に原稿依頼したところ、一六三名の方が原稿を寄せられたそうです。

寄せられた内容は、学生生活の感想やこれからの抱負、自分の趣味、随想等大変多岐にわたっております。とくに二年次に実施された施設見学旅行では、クラス全員で楽しい昼食の様子、美術館で

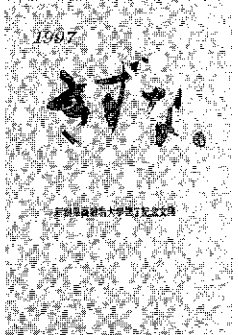


「碑文」第六号

巻頭で、児童の詩を引用して、一生懸命に生きること、学びに終了のないことを学長の手島教育長様が贈る言葉としておられます。学習の歩みでは、キャンドル・キャンプファイヤーでの感動体験、山倉小児童の交流作文が生きておりました。

はすばらしい作品に触れた感銘、特別養護老人ホームでの高齢者介護について考えさせられたことども等、生き生きと書き綴られております。

収録されたそれぞれ個々人の文章からは、学習意欲の高さと過去の生活体験の豊かさを感じることができ、将来は私も、という実感を抱くことができました。



「きずな」

特別展「星座の文化史」

～古星図と天球儀に描かれた星座たち～

- 1 特別展名称 星座の文化史
～古星図と天球儀に描かれた星座たち～
- 2 開催趣旨 本展では西洋や東洋の古星図や天球儀などを展示し、星座の歴史と文化を探ります。あわせて、新潟県内に現存する、江戸時代に作られた渾(こん)天儀や星天儀、望遠鏡を展示し、広く県民に紹介します。
- 3 開催期間 平成10年3月21日(土・祝)から平成10年4月19日(日)まで
(特別展開催期間中の開館日数：26日)
(期間中の月曜日 3/23 3/30 4/6 4/13は休館。)
- 4 会場 新潟市女池2010番15
新潟県自然科学館 特別展示室(226m²)
およびエントランスホールの一部(約100m²)
- 5 主催 財団法人 新潟県文化振興財団
新潟県立自然科学館
- 6 後援 新潟県公民館連合会

あとがき

◇少々早かったようですが、準備の都合もあるので、県大会並びに開プロ大会の概要について予告させていただきました。

◇1月号若手寄稿欄の執筆者に問合せ、感想等お寄せいただいたそうで、新潟市坂井輪地区公民館並びに私ども嬉しい限りです。(鈴木 記)

表紙解説

「裸押し合祭」

日本三大奇祭として有名な毘沙門堂の裸押し合祭です。男たちの熱気と魂が燃え上がる本番まで、もう間近です。

(大和町公民館)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価1部150円 年共1,800円】